

2019年3月15日

各位

株式会社 紀陽銀行

## 「堺市健康寿命延伸産業創出コンソーシアム」への参画について

株式会社紀陽銀行（頭取：松岡 靖之）は、堺市（市長：竹山 修身）が設立した「堺市健康寿命延伸産業創出コンソーシアム」に参画しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

堺市（※）は、2023年に近畿大学医学部および附属病院が泉北ニュータウンへ移転する計画が進むなか、今後の成長分野として期待される健康寿命延伸産業に着目し、企業・高等教育機関・医療機関・行政などの連携による健康寿命延伸に関する先導的な取り組みの推進などの基盤整備に向け、「堺市健康寿命延伸産業創出コンソーシアム」を設立しました。

当行は本コンソーシアムに参画し、新たな健康寿命延伸サービスの創出、新製品開発（医工連携など）、起業支援・企業誘致などを支援するなど、SDGs達成に資する活動に取り組んでまいります。

※堺市は2018年6月にSDGs未来都市として国に認定され、産学公民の協働による先導的な取り組みを進めることで、少子高齢化が進む泉北ニュータウンを活性化し、多世代の市民がいつまでも安心して元気に暮らせる、付加価値の高いまちづくりの実現をめざしています。

### 記

#### 【コンソーシアムの概要】

##### 1. 名称

堺市健康寿命延伸産業創出コンソーシアム

##### 2. 目的

産業界、大学、行政、地域住民などが緊密に連携して、健康寿命の延伸に係る課題や目標を共有し、健康寿命の延伸に係る研究、開発、実証、利活用などを促進することで、新たな製品・サービスの開発および起業など産業の創出や、企業投資促進、市内企業の発展および雇用の創出を図ることで地域を活性化させ、引いては住民の健康寿命の延伸に寄与することを目的としています。

##### 3. 事業

上記目的を達成するため、次に掲げる事業をおこないます。

- (1) 健康寿命の延伸産業の創出などに係る調査、事業の企画および推進に関する事業
- (2) 健康寿命の延伸に関する新たな製品およびサービスの開発、企業投資の促進、起業の支援など、雇用の創出、市内企業の発展、地域の活性化に関する事業
- (3) コンソーシアムなどの活動に係る情報の発信に関する事業
- (4) その他コンソーシアムの目的を達成するために必要な事業

以上

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール3「すべての人に健康と福祉を」、ゴール8「働きがいも経済成長も」、ゴール9「産業と技術革新の基盤をつくろう」、ゴール11「住み続けられるまちづくりを」、ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」につながる取り組みです。

